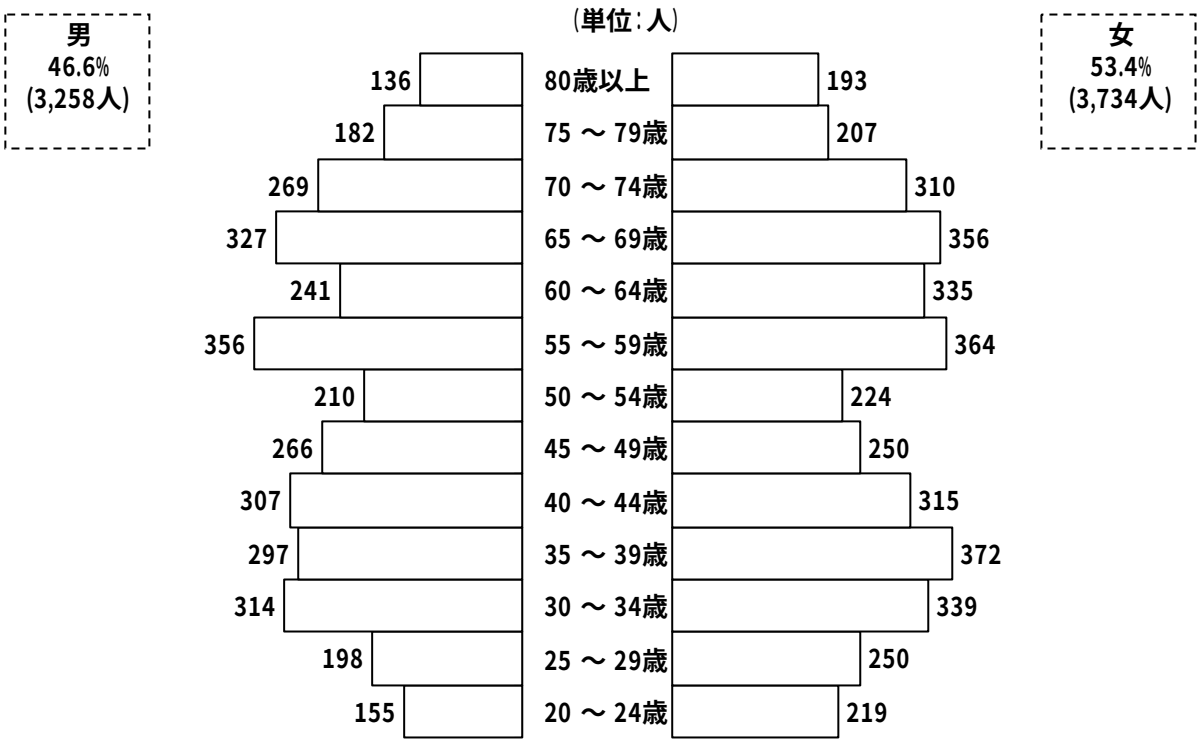
第２部　福祉、保健医療に関する実態と意識

「福祉、保健医療に関する実態と意識」は、東京都の福祉や保健医療の現状と今後などについて、調査したものである。

集計対象世帯 3,775 世帯の満 20 歳以上の世帯員 9,828 人を調査対象とし、6,996 人から回答を得た。

回答者の性・年齢階級の内訳については、次のとおりである。（図Ⅱ-1-1）

図Ⅱ-1-1　回答者の性・年齢階級



（注）総数 6,996 人にならないのは、年齢・性別不明の人が 4 名いるため。

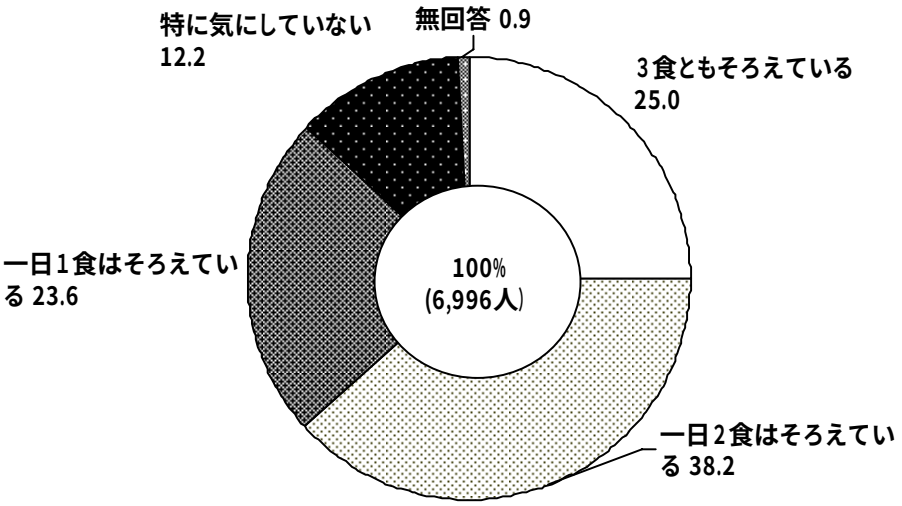
第１章　食生活の状況

１　１日の食事の栄養バランス

ふだんの１日の食事（3 食）のうち、何回、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしているか尋ねたところ、「一日 2 食はそろえている」の割合が最も高く 38.2%、次いで「3 食ともそろえている」25.0%、「１日１食はそろえている」23.6%と続いた。（図Ⅱ-1-2）

問　あなたは、ふだんの１日の食事（3 食）のうち、何回、主食（ご飯、パン、麺類など）、主菜（肉、魚、卵、豆腐などの豆製品を使ったおかず）、副菜（野菜を使ったおかず）をそろえた食事をしていますか。

図　Ⅱ-1-2　１日の食事の栄養バランス

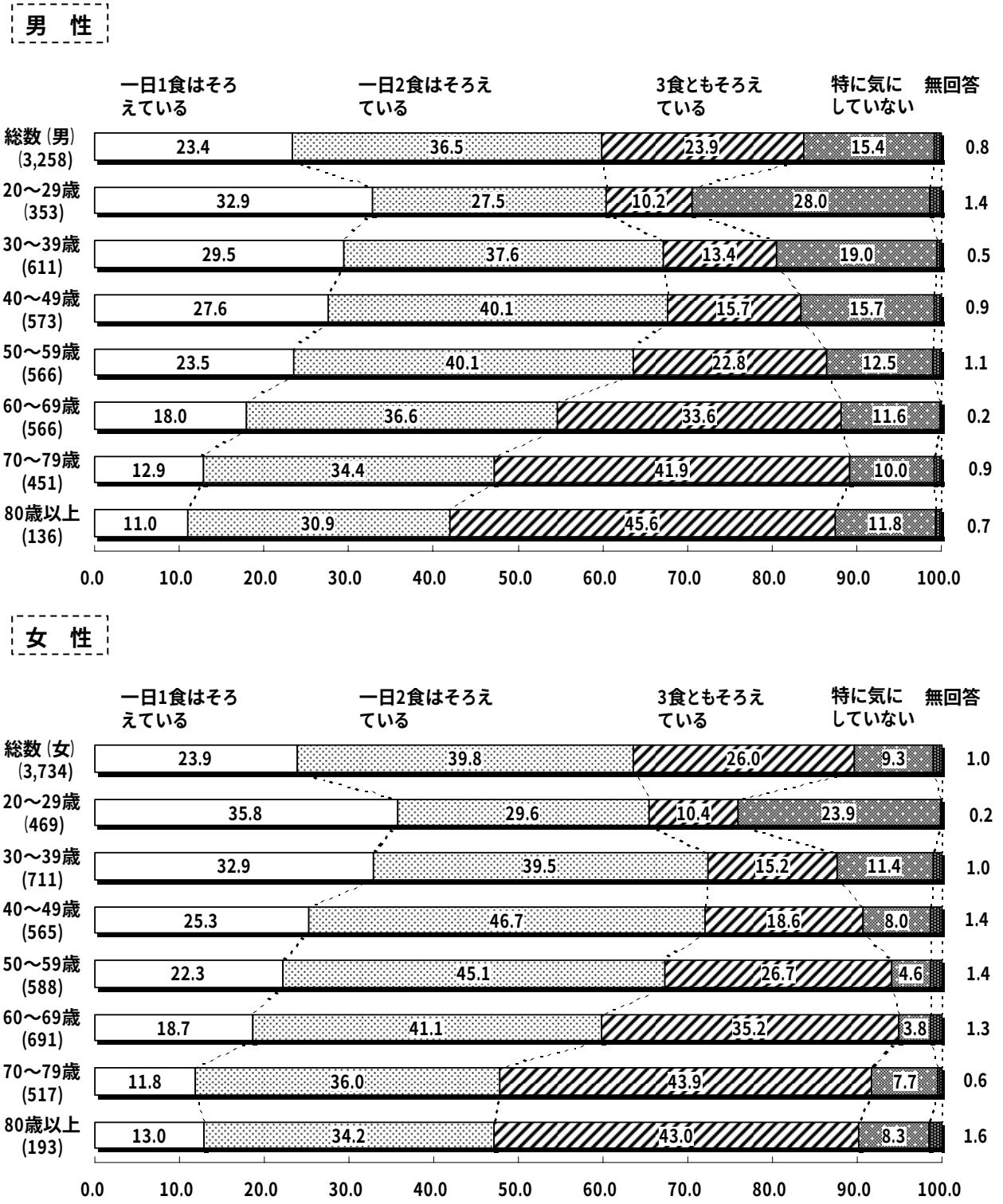


（1） 1日の食事の栄養バランスー性・年齢階級別

主食・主菜・副菜を「3食ともそろえている」人は、男女とも年齢が上がるにつれて上昇

性・年齢階級別でみると、主食・主菜・副菜を「3 食ともそろえている」は、男女ともに年齢が上がるにつれて、おおむね割合も増加している。（図Ⅱ-1-3）

図Ⅱ-1-3　1日の食事の栄養バランスー性・年齢階級別



（2） 1日の食事の栄養バランス－世帯類型（18歳未満の子どもの有無、高齢者、母子等)、配偶者の有無別

主食・主菜・副菜を「3食ともそろえている」割合は高齢者世帯が高く4割以上

世帯類型別（18歳未満の子どもの有無）でみると「一日1食はそろえている」「一日2食はそろえている」の割合は、子どもがいない世帯と比べて子どもがいる世帯の方が高い。

世帯類型別（高齢者、母子等）では、高齢者世帯の「3食ともそろえている」の割合が42.2%と高い。

配偶者の有無別でみると「3食ともそろえている」割合は、配偶者なしのうち未婚が15.2%と低くなっている。(表Ⅱ-1-1)

表Ⅱ-1-1　1日の食事の栄養バランス
－世帯類型（18歳未満の子どもの有無、高齢者、母子等)、配偶者の有無別

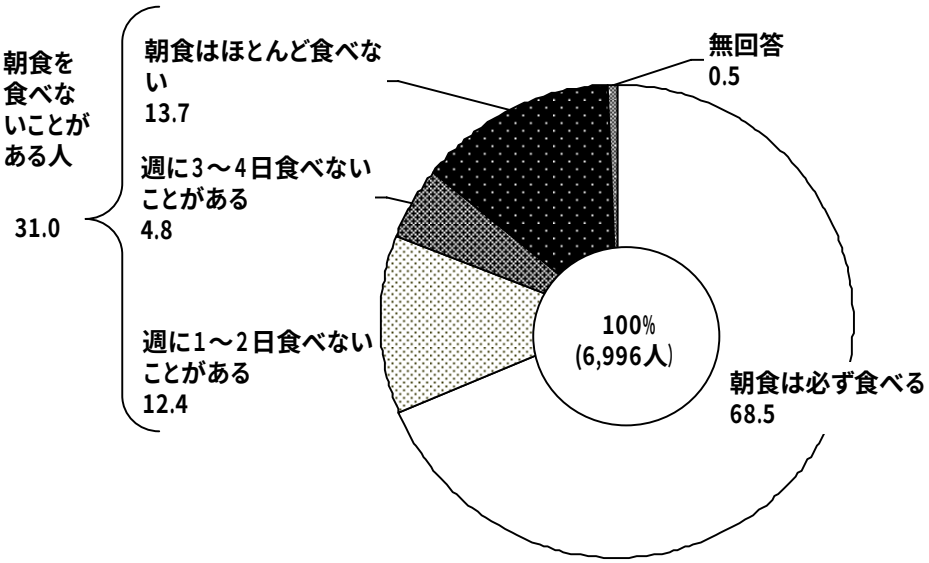
			総数	一日1食はそろえている	一日2食はそろえている	3食ともそろえている	特に気にしていない	無回答
総数			100.0 (6,996)	23.6	38.2	25.0	12.2	0.9
世帯類型別（18歳未満の子どもの有無）	子どもがいる世帯		100.0 (1,720)	28.7	43.2	17.6	9.7	0.9
	子どもがいない世帯		100.0 (5,253)	22.0	36.6	27.5	13.0	1.0
世帯類型別（高齢者、母子等）	高齢者世帯		100.0 (1,172)	13.6	33.9	42.2	9.3	1.1
	母子世帯		100.0 (49)	28.6	44.9	16.3	10.2	－
	その他の世帯		100.0 (5,749)	25.6	39.1	21.6	12.8	0.9
配偶者の有無別	配偶者あり		100.0 (4,618)	23.3	40.3	26.9	8.7	0.8
	配偶者なし		100.0 (2,337)	24.3	34.2	21.4	18.9	1.2
		未婚	100.0 (1,484)	27.4	32.4	15.2	23.9	1.1
		死別	100.0 (552)	14.9	37.3	38.8	7.4	1.6
		離別	100.0 (301)	26.9	37.2	19.9	15.3	0.7

2　朝食の有無

朝食の有無について尋ねたところ、「朝食は必ず食べる」の割合は 68.5%であった。一方、「朝食はほとんど食べない」13.7%、「週に 3～4 日食べないことがある」4.8%、「週に 1～2 日食べないことがある」12.4%、と朝食を食べない(欠食する）ことがある人の割合は 31.0%であった。（図Ⅱ-1-4）

問　あなたはふだん朝食を食べない（欠食する）ことがありますか。

図Ⅱ-1-4　朝食の有無



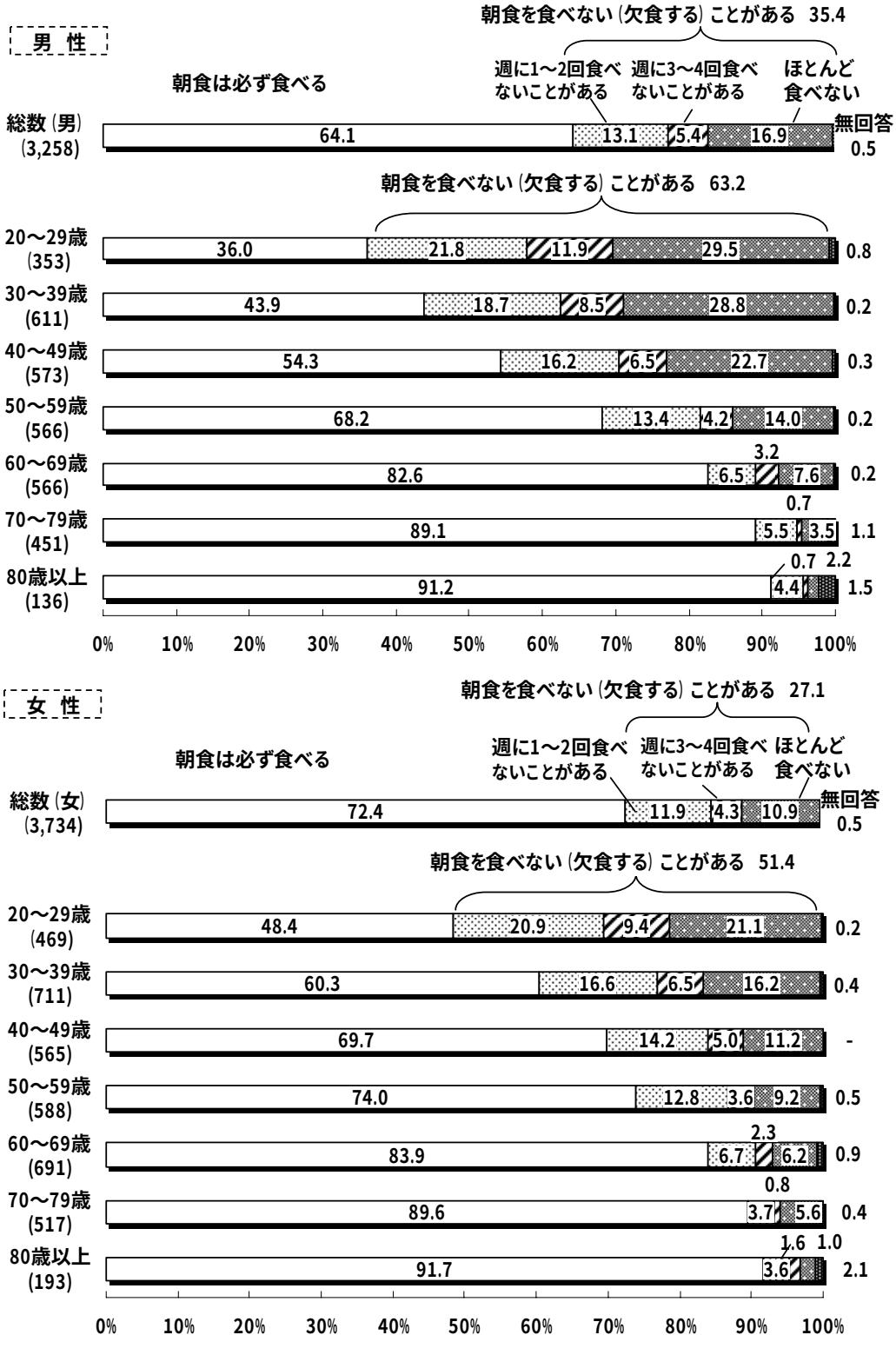
（注）「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料、錠剤のサプリメント、栄養ドリンク剤のみの場合は欠食としている。

（1） 朝食の有無－性・年齢階級別

「朝食を食べない（欠食）ことがある」割合は、男女ともに 20 代の割合が高い。

性・年齢階級別でみると「朝食を食べない（欠食）ことがある」の割合は、男女ともに 20 代の割合が高く男性 63.2%、女性 51.4%となっている。一方、「朝食は必ず食べる」の割合は年齢が上がるとともに増加している。（図Ⅱ-1-5）

図Ⅱ-1-5　朝食の有無－性・年齢階級別



（2） 朝食の有無－悩みやストレスの有無、原因別

悩みやストレスがない人は、「朝食は必ず食べる」割合が高く 74%

悩みやストレスの有無別にみると「朝食は必ず食べる」の割合は、悩みやストレスがある人（65.0%）よりも悩みやストレスがない人（73.9%）の方が高い。

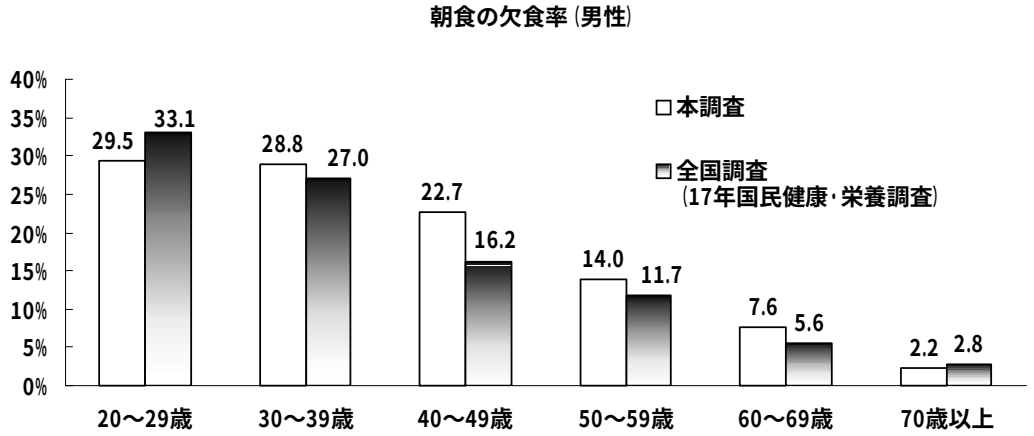
悩みやストレスがある人の原因別では、恋愛・性に関することや結婚の悩みを持っている人は「朝食は必ず食べる」の割合が低く、「朝食はほとんど食べない」の割合が高くなっている。（表Ⅱ-1-2）

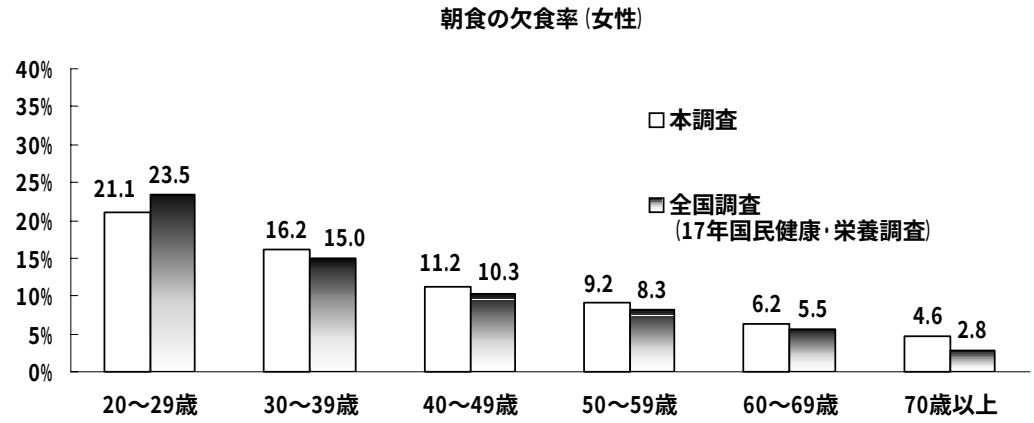
表Ⅱ-1-2　朝食の有無－悩みやストレスの有無、原因別

	総数	朝食は必ず食べる	週に1～2日食べないことがある	週に3～4日食べないことがある	朝食はほとんど食べない	無回答
総数	100.0 (6,996)	68.5	12.4	4.8	13.7	0.5
悩みやストレスがある	100.0 (4,245)	65.0	13.9	5.4	15.3	0.4
家族との人間関係	100.0 (713)	62.1	14.9	5.5	16.8	0.7
家族以外との人間関係	100.0 (844)	60.2	15.3	6.4	17.7	0.5
恋愛･性に関すること	100.0 (174)	41.4	16.1	10.9	30.5	1.1
結婚	100.0 (131)	48.1	13.0	9.2	29.0	0.8
離婚	100.0 (37)	56.8	10.8	8.1	18.9	5.4
いじめ、セクシュアル･ハラスメント	100.0 (47)	55.3	12.8	10.6	19.1	2.1
生きがいに関すること	100.0 (676)	59.2	14.5	8.3	17.5	0.6
自由にできる時間がない	100.0 (526)	61.6	13.1	6.8	18.1	0.4
収入･家計･借金など	100.0 (1,309)	57.0	16.3	6.6	19.9	0.2
自分の病気や介護	100.0 (732)	72.4	11.7	4.9	10.0	1.0
家族の病気や介護	100.0 (642)	71.5	12.5	4.0	11.4	0.6
妊娠･出産	100.0 (59)	55.9	18.6	5.1	20.3	-
育児	100.0 (284)	63.0	19.0	5.6	11.6	0.7
家事	100.0 (272)	64.7	18.4	5.9	10.7	0.4
教育(学業、受験及び進学を含む)	100.0 (395)	67.3	15.2	6.6	10.6	0.3
子どもの結婚	100.0 (178)	80.3	6.2	3.4	10.1	-
自分の仕事	100.0 (1,855)	56.9	16.2	6.8	19.8	0.2
家族の仕事	100.0 (223)	66.4	14.8	6.7	12.1	-
住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情	100.0 (529)	60.3	15.3	7.2	17.2	-
その他	100.0 (118)	63.6	16.1	5.1	14.4	0.8
わからない	100.0 (72)	69.4	11.1	2.8	16.7	-
悩みやストレスがない	100.0 (2,720)	73.9	10.3	3.9	11.4	0.6

参考「全国調査との比較（朝食の欠食率）」

朝食の欠食率について参考までに本調査と全国調査（厚生労働省「17 年国民健康・栄養調査」）を比較してみると、男女ともに 30 代～60 代が、本調査の割合が全国調査（よりも高くなっている。





(注)・「欠食」している選択肢は、本調査は「ほとんど食べない」、一方、全国調査は「何も食べない」でやや異なる。

・本調査はふだんの朝食の状況、全国調査は調査日の朝食の状況を尋ねている。

＊なお、「健康日本 21」の目標値（2010 年）として、朝食の欠食率を 20、30 代の男性で 15%以下としている。

第２章　飲酒の状況

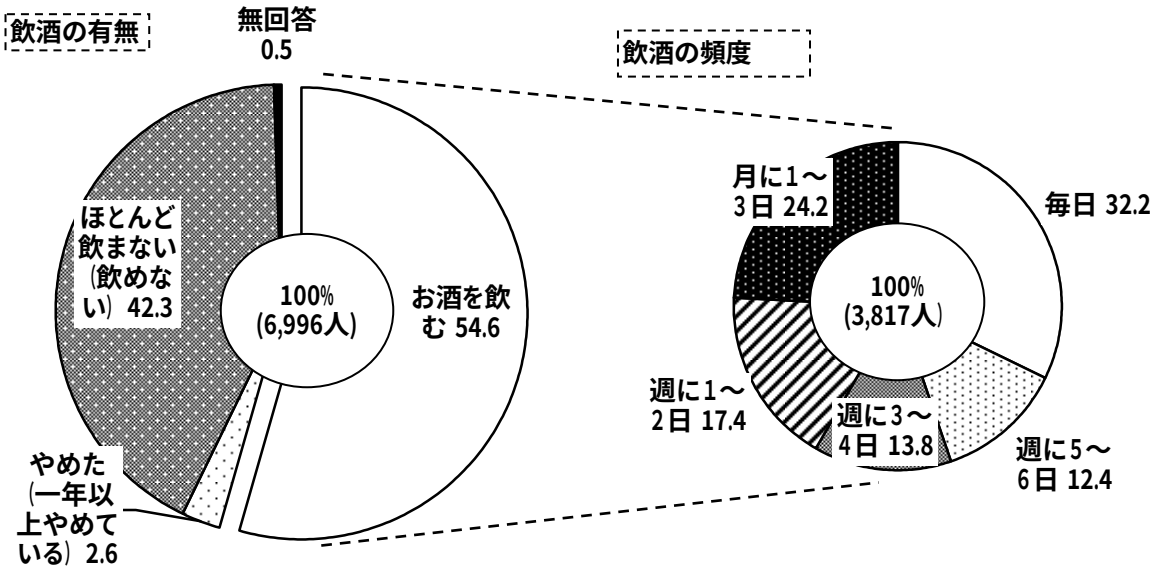
１　飲酒の有無、頻度

飲酒の割合は「お酒を飲む」が 54.6%、「ほとんど飲まない（飲めない)」が 42.3%、「やめた（1 年以上やめている)」は 2.6%であった。

また、お酒を飲む人（3,817 人）の飲酒の頻度は、「毎日」32.2%、「月に 1～3 日」24.2%、「週に 1～2 日」17.4%と続いている。（図Ⅱ-2-1）

問　あなたがふだんお酒を飲む頻度はどれくらいですか。

図Ⅱ-2-1　飲酒の有無、頻度



(注) 飲酒の頻度（右側の円グラフ）のいずれか回答したものを「お酒を飲む人」として集計した。

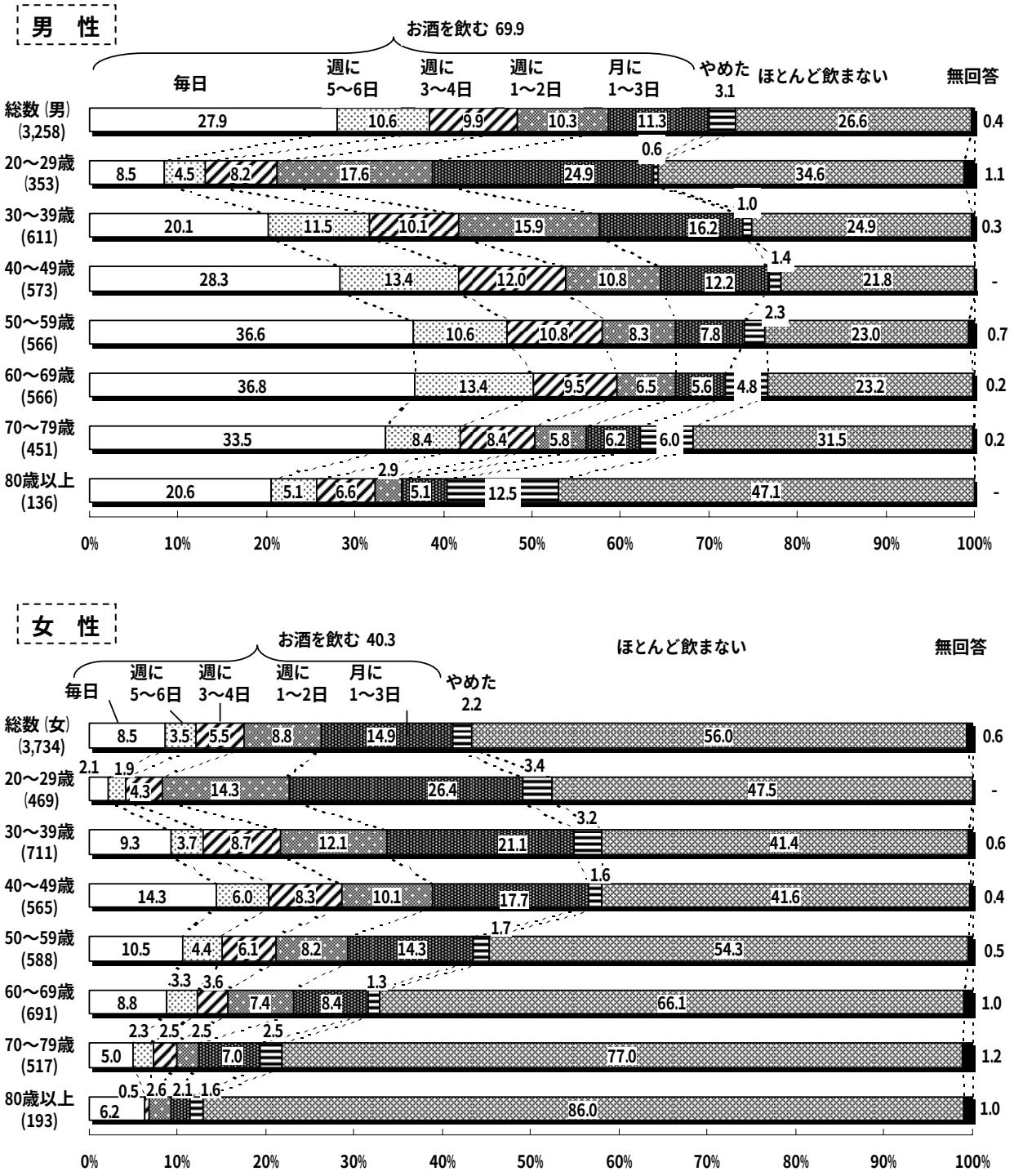
（1） 飲酒の有無、頻度－性・年齢階級別

お酒を飲む人は、男性 7 割、女性 4 割

飲酒の有無、頻度を性･年齢階級別でみると、「お酒を飲む」割合は、男性 69.9%、女性 40.3%である。

「毎日」飲酒をする人の割合は、男性では 50、60 代の割合が高くそれぞれ約 37%、女性では 40 代の割合が最も高く 14.3%となっている。(図Ⅱ-2-2)

図Ⅱ-2-2　飲酒の有無、頻度－性・年齢階級別



（2） 飲酒の有無、頻度－仕事の種類別

生産工程・労務作業、管理的な仕事をしている人は「毎日」お酒を飲む割合が 3 割以上

仕事の種類別でみると、「毎日」飲酒する人の割合は、管理的な仕事（31.2%）と生産工程・労務作業の仕事（34.1%）をしている人が高く、3 割を超えている。

非就業者は「毎日」の割合が 11.4%と低く、「ほとんど飲まない（飲めない）」が 57.8%と高くなっている。(Ⅱ-2-1)

表Ⅱ-2-1　飲酒の有無、頻度－仕事の種類別

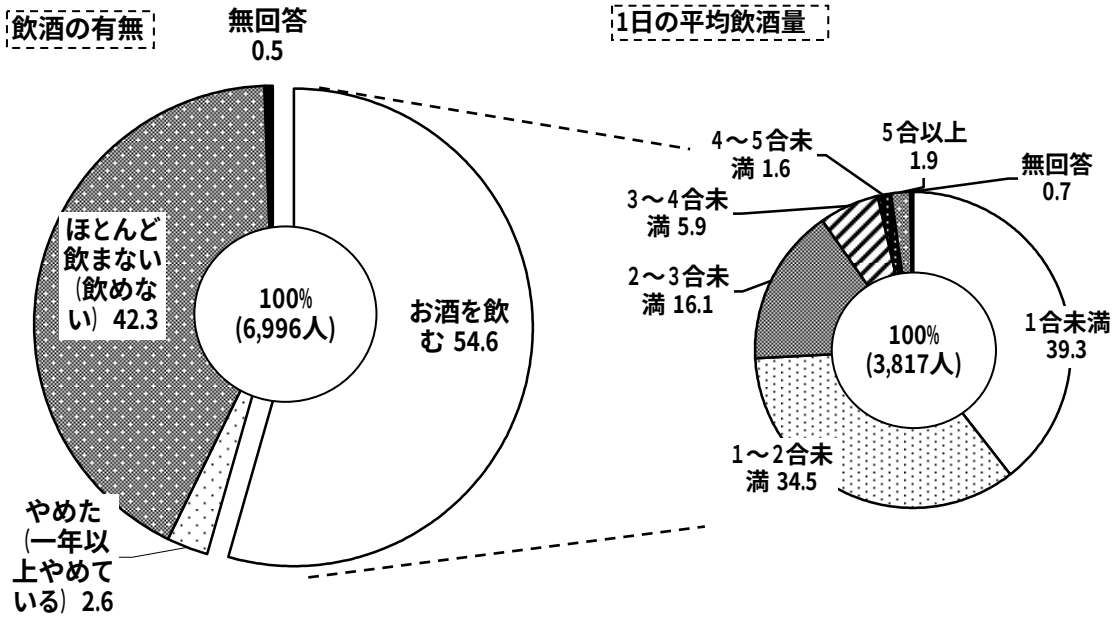
	総数	毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～3日	やめた（一年以上やめている）	ほとんど飲まない（飲めない）	無回答
総数	100.0 (6,996)	17.6	6.8	7.5	9.5	13.2	2.6	42.3	0.5
就業	100.0 (4,303)	21.4	8.3	8.8	11.4	15.4	1.6	32.8	0.4
専門的･技術的な仕事	100.0 (1,247)	22.9	9.4	9.6	11.6	16.4	1.0	28.7	0.4
管理的な仕事	100.0 (394)	31.2	11.7	11.7	11.4	10.4	1.8	21.6	0.3
事務の仕事	100.0 (820)	14.3	6.3	7.2	14.6	19.6	1.8	35.5	0.6
販売の仕事	100.0 (399)	23.1	9.0	9.5	10.5	13.5	2.0	32.1	0.3
サービスの仕事	100.0 (639)	18.3	6.7	7.2	12.4	15.2	1.6	38.2	0.5
保安の仕事	100.0 (43)	20.9	4.7	11.6	11.6	23.3	4.7	23.3	-
農林漁業の仕事	100.0 (20)	15.0	10.0	5.0	15.0	5.0	-	50.0	-
運輸･通信の仕事	100.0 (150)	26.7	10.0	14.0	9.3	10.0	2.0	28.0	-
生産工程･労務作業の仕事	100.0 (205)	34.1	7.3	5.9	3.4	11.2	-	37.6	0.5
その他の仕事	100.0 (274)	16.1	6.6	9.1	7.7	15.3	2.9	42.0	0.4
非就業	100.0 (2,647)	11.4	4.3	5.4	6.3	9.9	4.2	57.8	0.6

2　1日の平均飲酒量

お酒を飲む人（3,817 人）に対して、１日の平均飲酒量を尋ねたところ、節度ある適度な飲酒量（注）である「1 合未満」の割合が 39.3%で最も多く、次いで「1～2 合未満」が 34.5%、「2～3 合未満」16.1%と続いた。(図Ⅱ-2-3)

問　お酒を飲む日の 1 日の平均飲酒量はどれくらいですか。清酒に換算（※）し選んでください。
※清酒 1 合（180㎖）は、次の量にほぼ相当します。
・ビール・発泡酒中瓶 1 本（約 500㎖）・ワイン 2 杯（240㎖）・焼酎 20 度（135㎖）・焼酎 35 度（80㎖）・チュウハイ 7 度（350㎖）・ウィスキーダブル 1 杯（60㎖）

図Ⅱ-2-3　１日の平均飲酒量



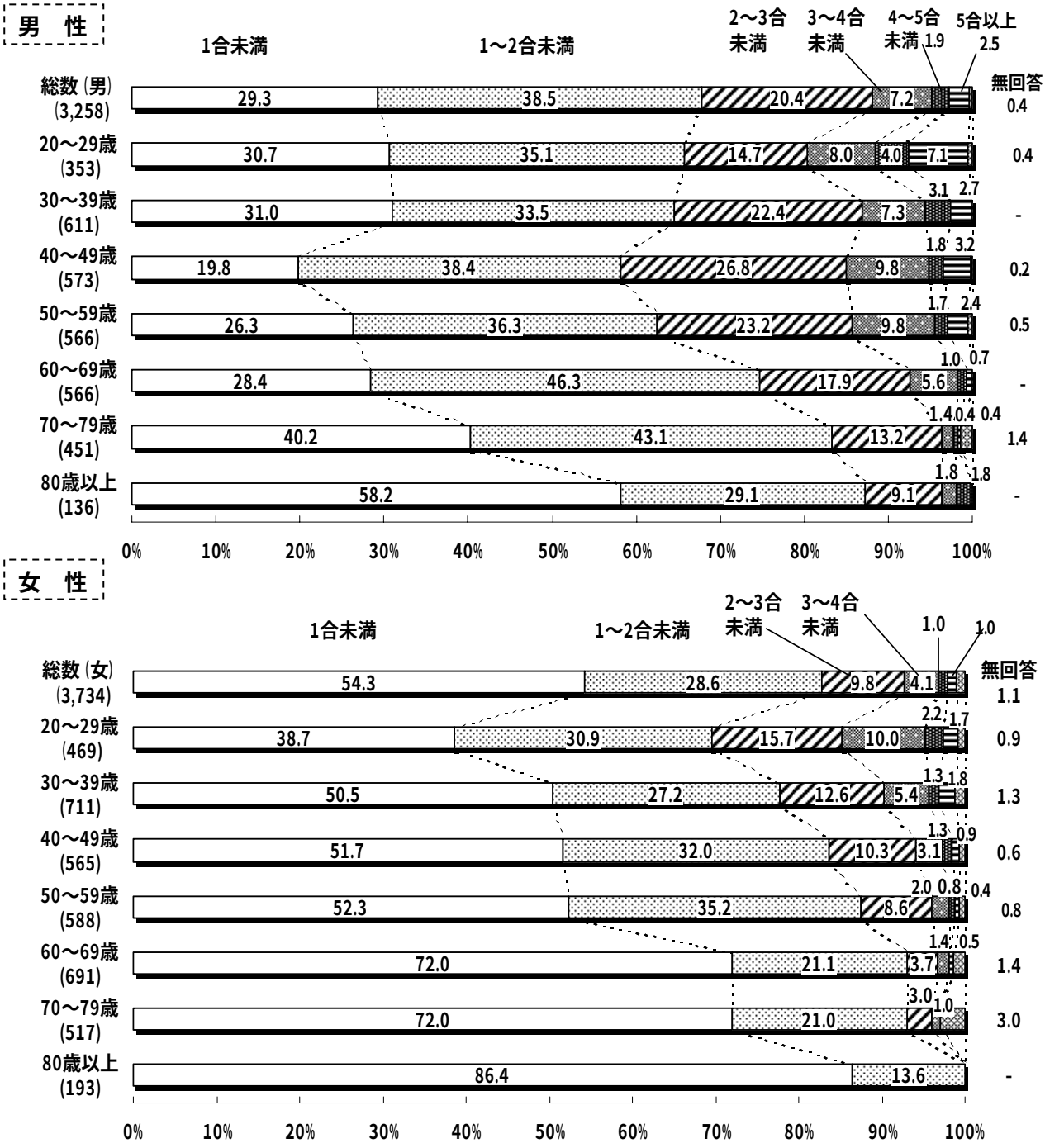
（注）「節度ある適度な飲酒」とは通常のアルコール代謝機能を有する日本人においては、1 日平均純アルコール約 20g 程度をいう。主な酒類の目安量としては、ビールなら中瓶 1 本（約 500㎖）清酒なら 1 合（180㎖）、ウィスキー・ブランデーならダブル 1 杯（60㎖）、ワインなら 2 杯（240㎖）程度である。（「健康日本 21」報告書より）

（1） 1日の平均飲酒量－性・年齢階級別

1日の平均飲酒量の割合は、男性「1～2合未満」、女性「1合未満」が最も高い。

1日の平均飲酒量は、男性では「1～2合未満」38.5%、女性では「1合未満」54.3%の割合がそれぞれ高い。（図Ⅱ-2-4）

図Ⅱ-2-4　1日の平均飲酒量－性・年齢階級別



（2） 1 日の平均飲酒量－健康状態別

健康状態がよくない人の 6 割弱は、1 日の平均飲酒量が「1 合未満」

健康状態別にみると、よくない人の 56.6%は、１日の平均飲酒量が「1 合未満」である。(但し、「1 合未満」は高齢者の割合が高い。本文 112p 参照）また、平均飲酒量が「5 合以上」の割合は、健康状態があまりよくない人の割合が 4.2%と総数（1.9%）よりも高いのが目立つ。（表Ⅱ-2-2）

そこで、特化係数表でみてみると健康状態があまりよくない人の「5 合以上」の係数は 2.2 と最も高く、全体の中で特化していることが分かる。(表Ⅱ-2-3)

表Ⅱ-2-2　1 日の平均飲酒量－健康状態別

		総数	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～4合未満	4～5合未満	5合以上	無回答
総数		100.0 (3,817)	39.3	34.5	16.1	5.9	1.6	1.9	0.7
健康状態別	よい	100.0 (1,828)	39.5	33.3	16.6	6.1	2.1	1.8	0.7
	まあよい	100.0 (645)	41.9	35.2	14.9	5.6	1.2	0.8	0.5
	ふつう	100.0 (1,020)	37.4	36.0	17.1	5.5	1.2	2.3	0.7
	あまりよくない	100.0 (263)	36.5	36.1	13.7	8.4	0.4	4.2	0.8
	よくない	100.0 (53)	56.6	32.1	7.5	1.9	1.9	-	-

表Ⅱ-2-3　1 日の平均飲酒量－健康状態別（特化係数表）

	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～4合未満	4～5合未満	5合以上	無回答
総数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
よい	1.00	0.96	1.03	1.03	1.32	0.96	1.09
まあよい	1.06	1.02	0.92	0.94	0.79	0.41	0.71
ふつう	0.95	1.04	1.06	0.93	0.75	1.20	1.05
あまりよくない	0.93	1.05	0.85	1.41	0.24	2.22	1.16
よくない	1.44	0.93	0.47	0.32	1.20	-	-

「特化係数表」について

「特化係数表」（表Ⅱ-1-5）は、クロス集計表(表Ⅱ-1-4）における行の比率を全体集団（総数）の比率で割って求めた数値（特化係数）の表である。

この数値（特化係数）が１に近い値であれば、全体と同じ傾向であるが、もし１から離れた値があれば、そこに行（または列）固有の効果がある（特化している）と解釈できる。

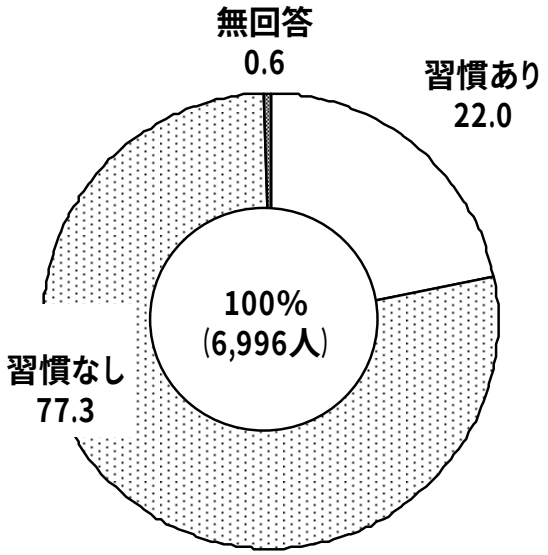
値が１より大きい…標準以上　値が１に近い……標準的　値が１より小さい…標準以下

（117ｐ「クロス集計表を使った分析⑤」も参照）

3　飲酒の習慣の有無

飲酒の習慣（注）の有無については、「習慣あり」は 22.0%、「習慣なし」は 77.3%であった。（図Ⅱ-2-5）

図Ⅱ-2-5　飲酒の習慣の有無



（注）飲酒の習慣は、飲酒の頻度が週 3 日以上、1 日の平均飲酒量が 1 合以上の者を「習慣あり」とした。

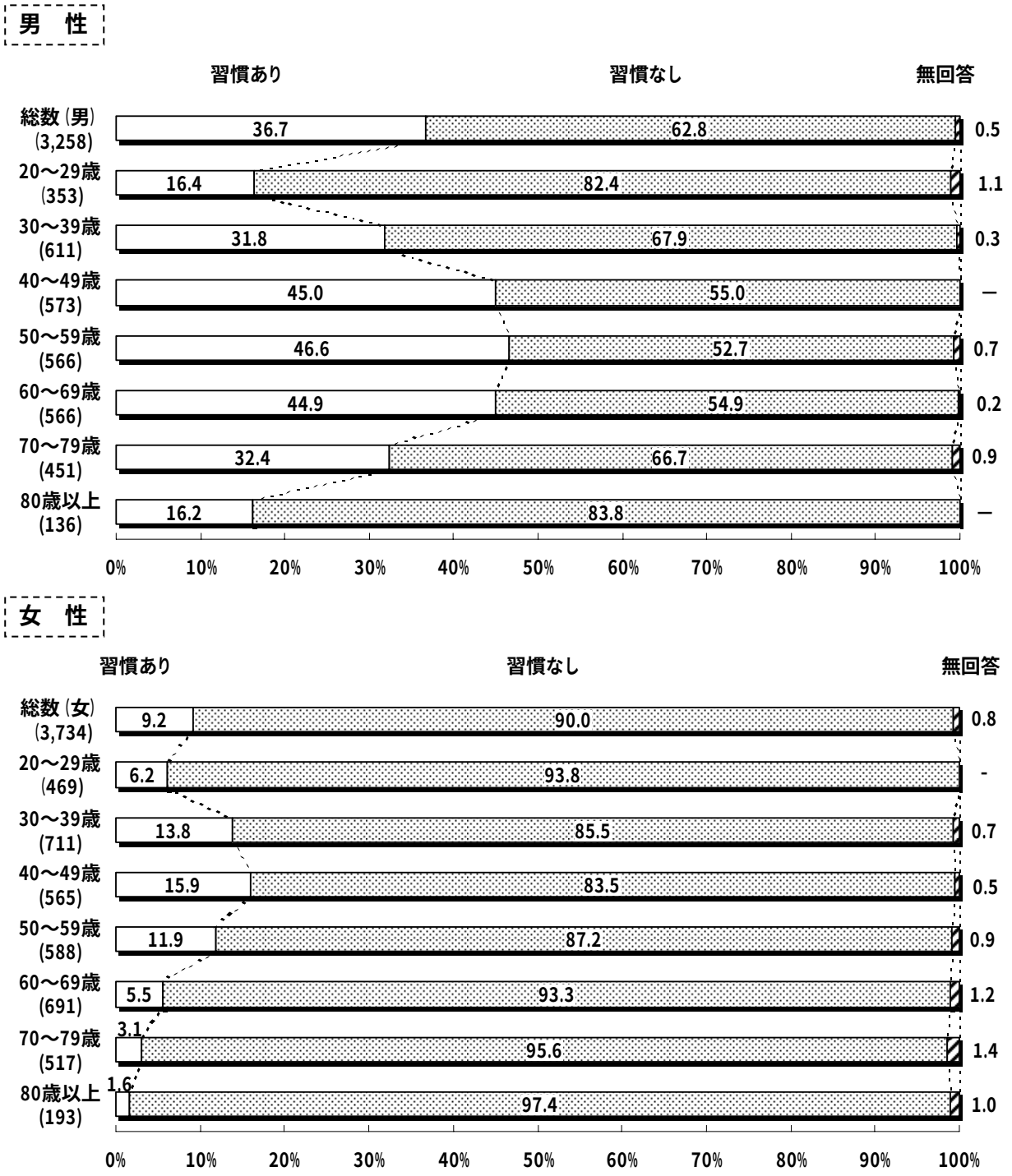
（1） 飲酒の習慣の有無－性・年齢階級別

飲酒習慣ありの割合は、男性 37%、女性 9%

性別でみると飲酒の「習慣あり」の割合は、男性 36.7%、女性 9.2%となっている。

性・年齢階級別にみた「習慣あり」の割合は、男性では 40 代～60 代が 45%前後で高く、女性では 40 代が 15.9%と高くなっている。(図Ⅱ-2-6)

図Ⅱ-2-6　飲酒の習慣の有無－性・年齢階級別



（2） 飲酒の習慣の有無－仕事の種類別

「管理的」「運輸・通信」が仕事の人は、飲酒習慣ありの割合が 4 割以上

飲酒の「習慣あり」の割合は、非就業者（11.7%）よりも就業者（28.4%）が高く、「習慣なし」の割合は、就業者（71.2%）よりも非就業者（87.5%）の方が高い。

仕事の種類別にみると「習慣あり」の割合は、管理的な仕事（41.1%）と運輸・通信の仕事（43.3%）が 4 割を超えている。(表Ⅱ-2-4)

表 II -2-4　飲酒の習慣の有無－仕事の種類別

		総数	習慣あり	習慣なし	無回答
総数		100.0 (6,996)	22.0	77.3	0.6
就業		100.0 (4,303)	28.4	71.2	0.5
	専門的･技術的な仕事	100.0 (1,247)	29.8	69.8	0.4
	管理的な仕事	100.0 (394)	41.1	58.6	0.3
	事務の仕事	100.0 (820)	19.0	80.2	0.7
	販売の仕事	100.0 (399)	30.1	69.7	0.3
	サービスの仕事	100.0 (639)	25.4	74.0	0.6
	保安の仕事	100.0 (43)	32.6	67.4	-
	農林漁業の仕事	100.0 (20)	25.0	75.0	-
	運輸･通信の仕事	100.0 (150)	43.3	56.7	-
	生産工程･労務作業の仕事	100.0 (205)	39.5	60.0	0.5
	その他の仕事	100.0 (274)	22.3	77.0	0.7
非就業		100.0 (2,647)	11.7	87.5	0.9

参考「クロス集計表を使った分析（特化係数）」

「特化係数」

特化係数とは、部分集団の比率（本報告書の場合は、行比率）を全体集団の比率で割って求める。

内訳（下の事例の場合は地域別）の行比率にその行特有の効果が含まれていなければ、総数の行比率と似た値を示し、その場合、特化係数は１に近い値になる。逆に１から大きい（小さい）値は特有の効果があると解釈できる。下の表アは、1 日の平均飲酒量（行）と地域別（列）をクロスした集計表である。このクロス集計表を特化係数にすると表イのようになり、1 日「5 合以上」の飲酒は、区中央部の値が 1.92 で全体の中で特化しているという解釈ができる。このように、特化係数はクロス集計表では探れなかったことが分析できる特徴がある。

ア. 1日の平均飲酒量－地域別(クロス集計表)

	総数	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～4合未満	4～5合未満	5合以上	無回答
総数	100.0 (3,817)	39.3	34.5	16.1	5.9	1.6	1.9	0.7
区部　計	100.0 (2,483)	38.0	34.6	16.2	6.7	1.7	2.1	0.7
区中央部	100.0 (166)	38.6	34.3	16.3	5.4	1.2	3.6	0.6
区南部	100.0 (361)	35.7	36.6	16.3	7.2	2.5	1.7	-
区西南部	100.0 (309)	40.5	35.0	14.6	5.5	2.3	1.9	0.3
区西部	100.0 (216)	45.4	30.6	15.7	6.0	0.5	1.9	-
区西北部	100.0 (647)	39.1	33.1	15.9	6.2	1.9	2.6	1.2
区東北部	100.0 (363)	34.7	34.4	17.1	8.8	1.7	2.2	1.1
区東部	100.0 (421)	35.4	37.3	17.1	6.9	1.2	1.2	1.0
市・町・村部	100.0 (1,334)	41.8	34.4	16.0	4.5	1.3	1.5	0.5
西多摩	100.0 (114)	36.8	34.2	15.8	7.9	1.8	1.8	1.8
南多摩	100.0 (413)	40.4	36.1	15.5	5.1	1.7	0.7	0.5
北多摩西部	100.0 (212)	43.4	29.7	17.9	3.8	2.4	2.4	0.5
北多摩南部	100.0 (309)	46.6	35.0	13.6	3.2	0.6	0.6	0.3
北多摩北部	100.0 (286)	39.2	35.0	17.8	4.2	0.7	2.8	0.3

⇩

イ. 1日の平均飲酒量－地域別(特化係数)

	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～4合未満	4～5合未満	5合以上
総数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
区部　計	0.97	1.00	1.00	1.13	1.08	1.11
区中央部	0.98	0.99	1.01	0.92	0.77	**1.92**
区南部	0.91	1.06	1.01	1.22	1.59	0.88
区西南部	1.03	1.01	0.90	0.93	1.44	1.03
区西部	1.15	0.88	0.98	1.02	0.29	0.98
区西北部	0.99	0.96	0.99	1.04	1.18	1.39
区東北部	0.88	1.00	1.06	1.49	1.05	1.17
区東部	0.90	1.08	1.06	1.16	0.76	0.63
市・町・村部	1.06	1.00	0.99	0.76	0.86	0.79
西多摩	0.94	0.99	0.98	1.33	1.12	0.93
南多摩	1.03	1.04	0.96	0.86	1.08	0.39
北多摩西部	1.10	0.86	1.11	0.64	1.50	1.25
北多摩南部	1.19	1.01	0.84	0.55	0.41	0.34
北多摩北部	1.00	1.01	1.11	0.71	0.44	1.48

← 3.6÷1.9

特化係数＝内訳（行比率）÷総数（行比率）

全体を標準とした場合
値が1より大きい→標準以上
値が1に近い　→標準的
値が1より小さい→標準以下

第３章　喫煙の状況

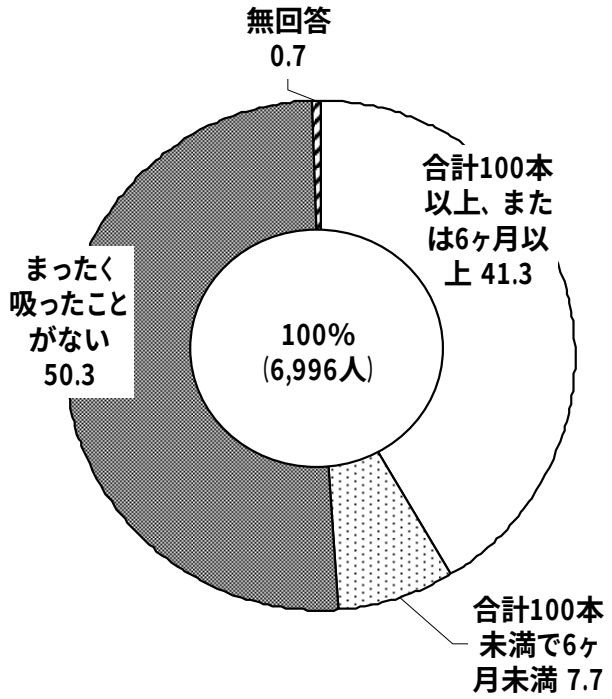
１　喫煙の有無

これまでにたばこを吸ったことがあるか尋ねたところ、「合計 100 本以上、または 6 か月以上吸っている（吸っていた）」の割合が 41．3%、「吸ったことはあるが、合計 100 本未満で 6 か月未満」が 7.7%であった。

一方「まったく吸ったことはない」は 50.3%と 5 割の人が喫煙経験がないことが分かった。（図Ⅱ-3-1）

問　あなたは、これまでにたばこを吸ったことがありますか？

図Ⅱ-3-1　喫煙の有無



（1） 喫煙の有無－性・年齢階級別

たばこを「吸っている（吸ったことがある）」人は男性 7 割、女性 3 割

喫煙の有無を性別にみると、たばこを「吸っている（吸ったことがある）」割合は、男性 71.0%、女性 29.8%であった。一方、「まったく吸ったことがない」割合は、男性 28.3%、女性は 69.5%となっている。

性・年齢階級でみると、「吸っている（吸ったことがある）」割合は、50 代男性の 79.9%が最も高い。（表Ⅱ-3-1）

表Ⅱ-3-1　喫煙の有無－性・年齢階級別

		総数	吸っている（吸ったことがある）	合計、1000本以上または6ヶ月以上	合計100本未満で6ヶ月未満	まったく吸ったことがない	無回答
総数		100.0 (6,996)	49.0	41.3	7.7	50.3	0.7
男		100.0 (3,258)	71.0	62.3	8.7	28.3	0.7
	20～29歳	100.0 (353)	59.2	48.2	11.0	39.9	0.8
	30～39歳	100.0 (611)	69.6	60.7	8.8	30.1	0.3
	40～49歳	100.0 (573)	75.4	66.1	9.2	24.3	0.3
	50～59歳	100.0 (566)	79.9	73.0	6.9	19.8	0.4
	60～69歳	100.0 (568)	72.9	65.1	7.7	26.6	0.5
	70～79歳	100.0 (451)	68.3	59.6	8.6	30.4	1.3
	80歳以上	100.0 (136)	53.7	42.6	11.0	43.4	2.9
女		100.0 (3,734)	29.8	22.9	6.9	69.5	0.7
	20～29歳	100.0 (469)	36.5	26.0	10.4	63.1	0.4
	30～39歳	100.0 (711)	39.2	30.7	8.6	60.3	0.4
	40～49歳	100.0 (565)	43.2	33.1	10.1	56.6	0.2
	50～59歳	100.0 (588)	32.1	25.5	6.6	66.5	1.4
	60～69歳	100.0 (691)	19.2	15.5	3.8	79.9	0.9
	70～79歳	100.0 (517)	15.7	11.6	4.1	83.6	0.8
	80歳以上	100.0 (193)	8.8	6.2	2.6	90.7	0.5

（2） 喫煙の有無－仕事の種類別

仕事の種類別にみるとたばこを「吸っている（吸ったことがある）」割合は、運輸・通信の仕事が最も高く 78.0%、次いで管理的な仕事が 68.3%と続く。

一方、「まったく吸ったことがない」割合は、非就業が 63.7%で最も高い。（表Ⅱ-3-2）

表Ⅱ-3-2　喫煙の有無－仕事の種類別

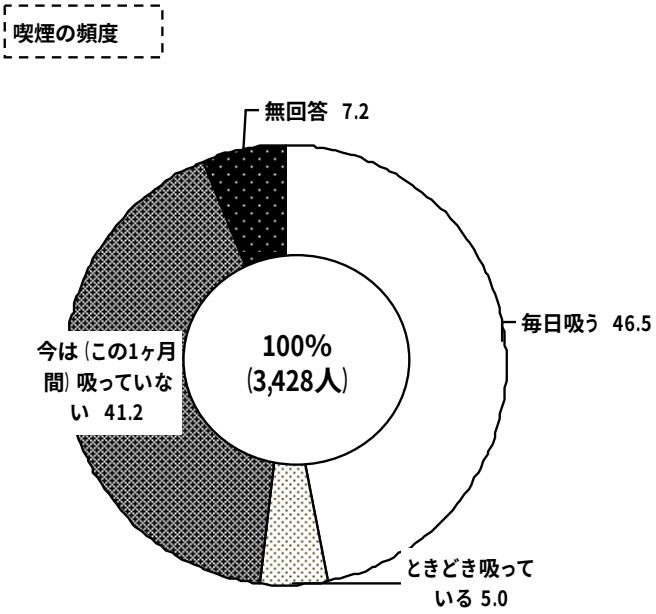
	総数	吸っている（吸ったことがある）	合計100本以上、または6ヶ月以上	合計100本未満で6ヶ月未満	まったく吸ったことがない	無回答
総数	100.0 (6,996)	49.0	41.3	7.7	50.3	0.7
就業	100.0 (4,303)	57.4	48.7	8.6	42.1	0.5
専門的･技術的な仕事	100.0 (1,247)	59.6	49.7	9.9	39.9	0.5
管理的な仕事	100.0 (394)	68.3	60.7	7.6	31.0	0.8
事務の仕事	100.0 (820)	44.4	35.5	8.9	55.0	0.6
販売の仕事	100.0 (399)	62.9	54.4	8.5	37.1	-
サービスの仕事	100.0 (639)	54.6	46.2	8.5	44.6	0.8
保安の仕事	100.0 (43)	62.8	55.8	7.0	37.2	-
農林漁業の仕事	100.0 (20)	40.0	40.0	-	60.0	-
運輸･通信の仕事	100.0 (150)	78.0	70.0	8.0	22.0	-
生産工程･労務作業の仕事	100.0 (205)	67.3	62.0	5.4	32.2	0.5
その他の仕事	100.0 (274)	49.6	42.3	7.3	49.6	0.7
非就業	100.0 (2,647)	35.5	29.1	6.3	63.7	0.9

2　喫煙の頻度

たばこを吸っている(吸ったことがある)人（3,428 人）に、現在（この 1 か月間）の喫煙頻度を尋ねたところ、「毎日吸う」が 46.5%、一方、「今は（この 1 か月間）吸っていない」と答えた人も 41.2%にのぼった。（図Ⅱ-3-2）

問　現在（この 1 ヶ月)、あなたはたばこを吸っていますか

図Ⅱ-3-2　喫煙の頻度

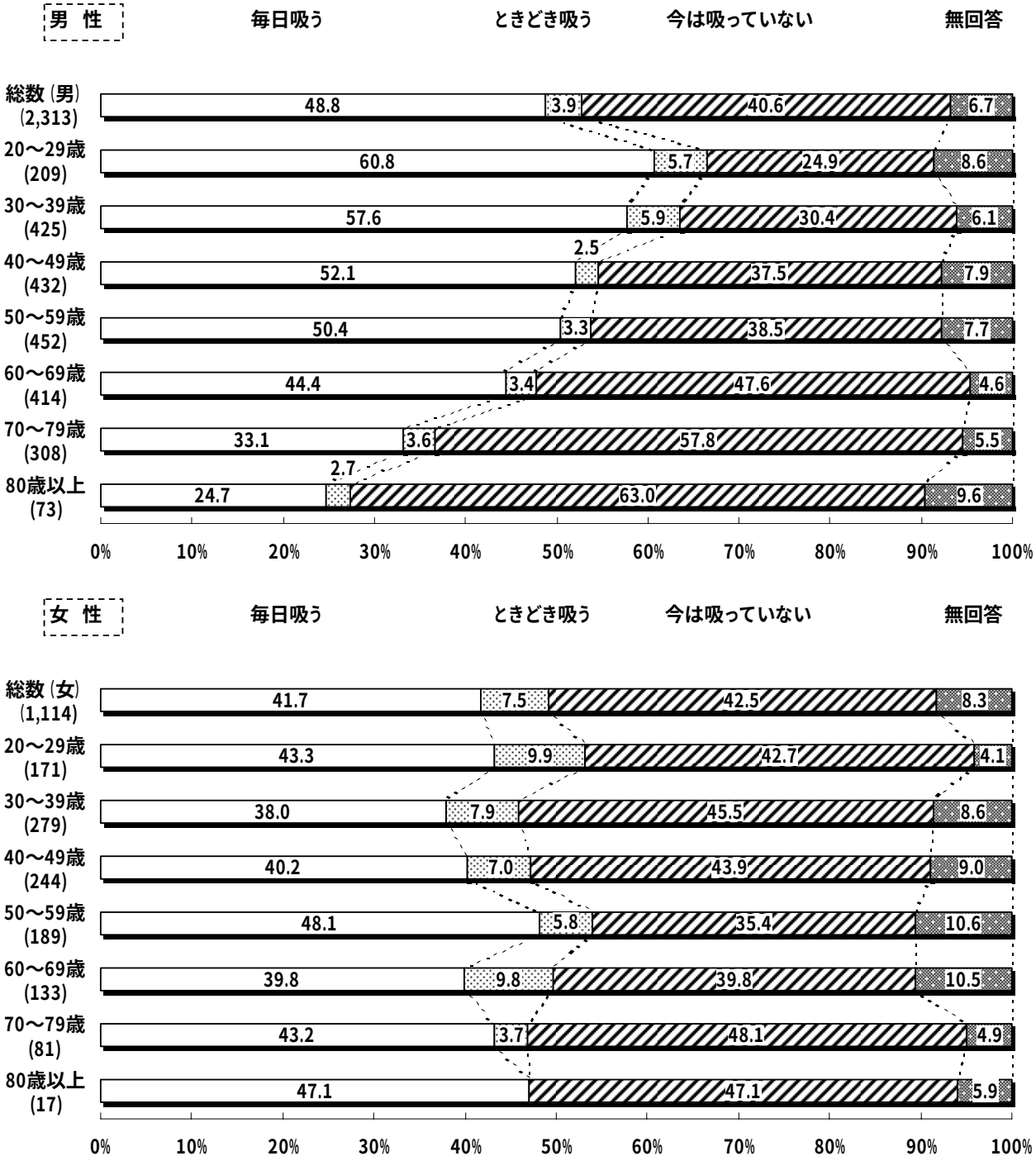


（1） 喫煙の頻度－性・年齢階級別

男性のたばこを「毎日吸う」割合は年齢が上がるにつれて減少

性・年齢階級別でみると「毎日吸う」割合は、男性は 20 代が最も多く 60.8%、女性は 50 代が最も多く 48.1%となっている。男性は年齢が上がるにつれて「毎日吸う」割合が減少、「今は吸っていない」割合が増加している。（図Ⅱ-3-3）

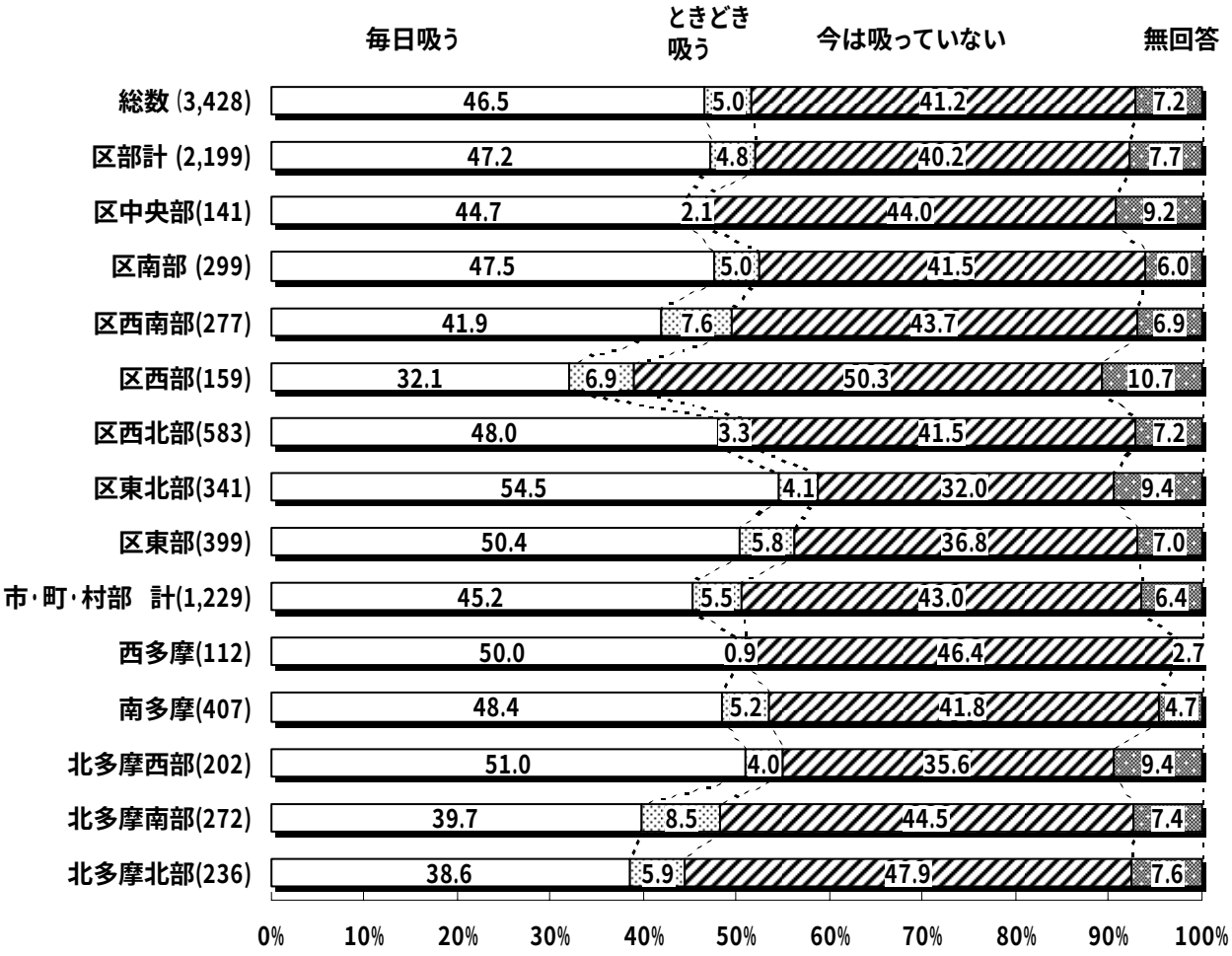
図Ⅱ-3-3　喫煙の頻度－性・年齢階級別



（２） 喫煙の頻度－地域別

喫煙の頻度を地域別にみると「毎日吸う」割合は、区東北部（荒川、足立、葛飾区）の割合が 54.5%と最も高く、次いで北多摩西部（立川、昭島、国分寺、東大和、武蔵村山市）が 51.0%と続く。(図Ⅱ-3-4)

図Ⅱ-3-4　喫煙の頻度－地域別

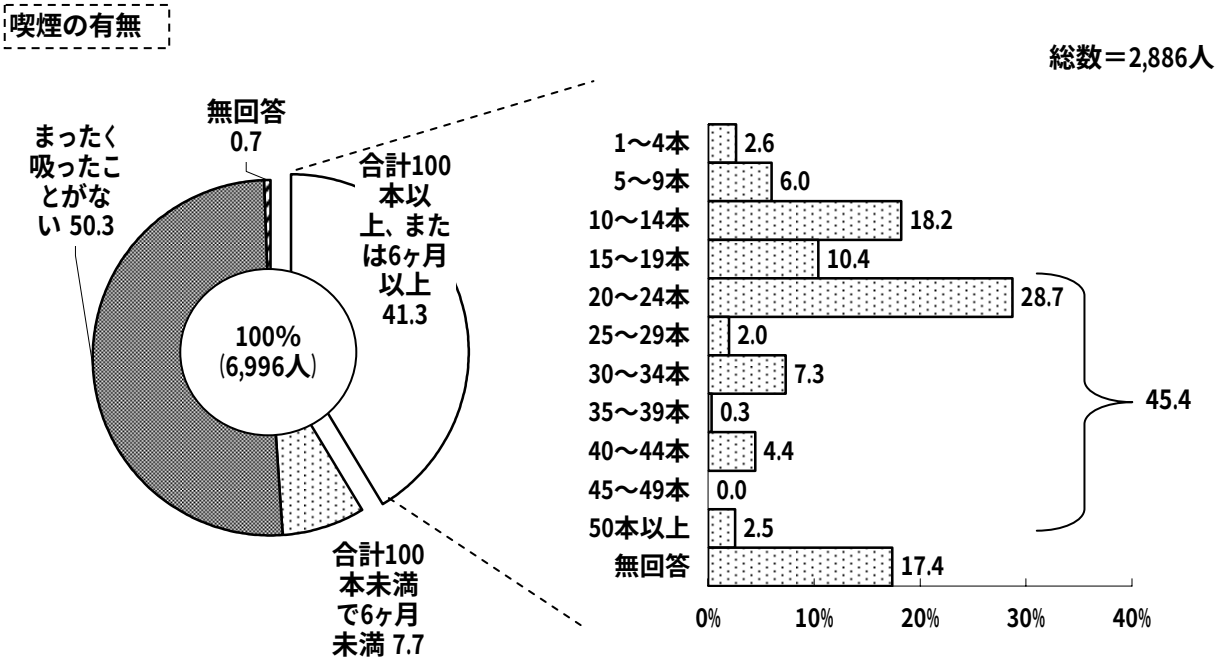


3　１日の喫煙本数

これまでに吸った合計 100 本以上、または 100 本以下でも 6 ケ月以上吸っている（吸っていた）人 2,886 人の１日の喫煙本数について尋ねたところ、「20～24 本」の割合が 28.7%で最も高く、20 本以上の割合は 45.4%であった。(図Ⅱ-3-5)

問　あなたは通常、1 日に何本たばこを吸いますか（吸っていましたか)。

図Ⅱ-3-5　1 日の喫煙本数

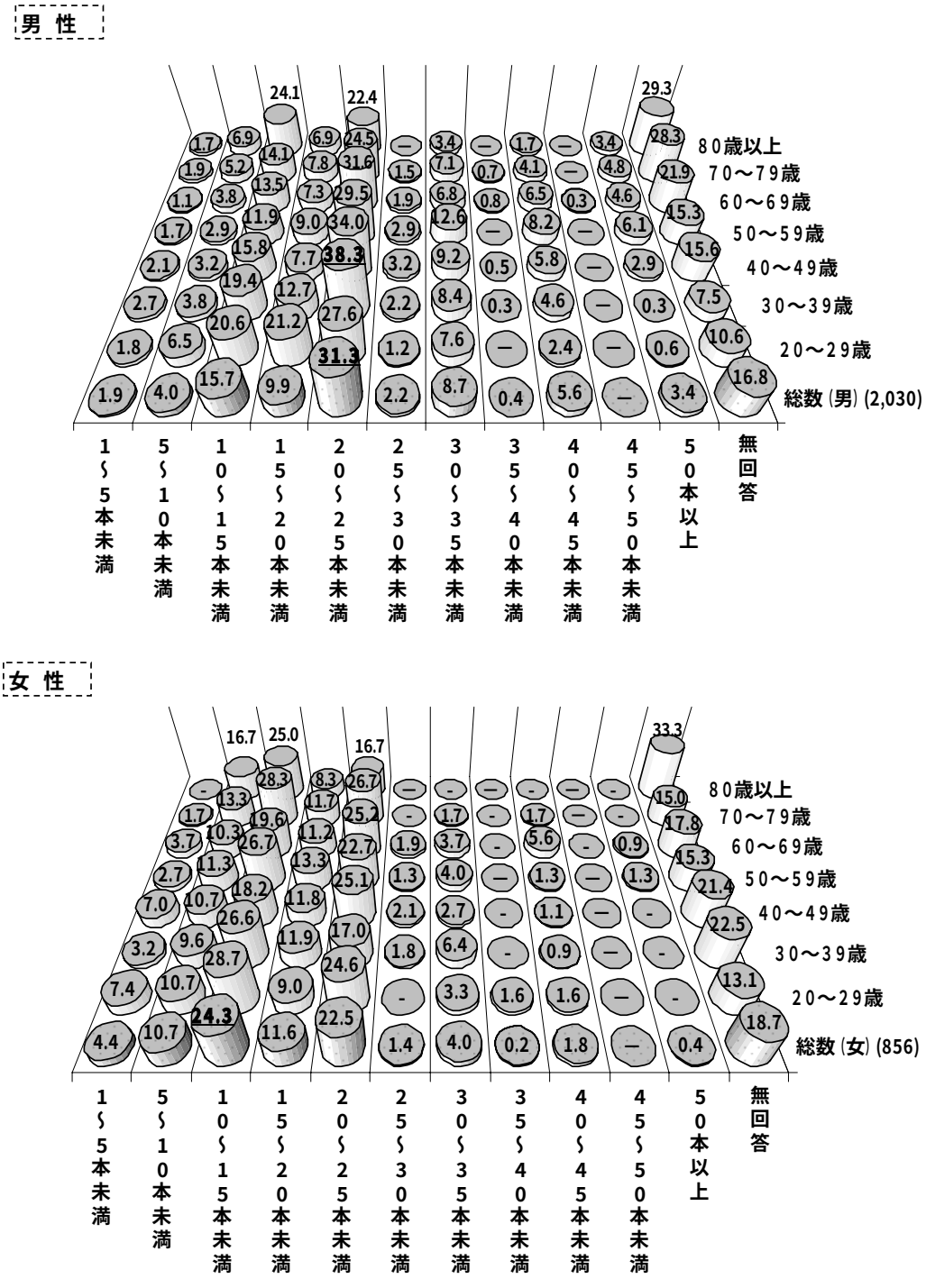


（1） 1日の喫煙本数－性・年齢階級別

1日の喫煙本数は、男性は「20～25本」女性は「10～15本」の割合が高い。

1日の喫煙本数について、性別でみると男性は「20～25本」の割合が最も高く31.3%、女性は「10～15本」の割合が最も高く24.3%となっている。男性の30代では、1日「20～25本」の割合が38.3%と高くなっている。(図Ⅱ-3-6)

図Ⅱ-3-6　1日の喫煙本数－性・年齢階級別

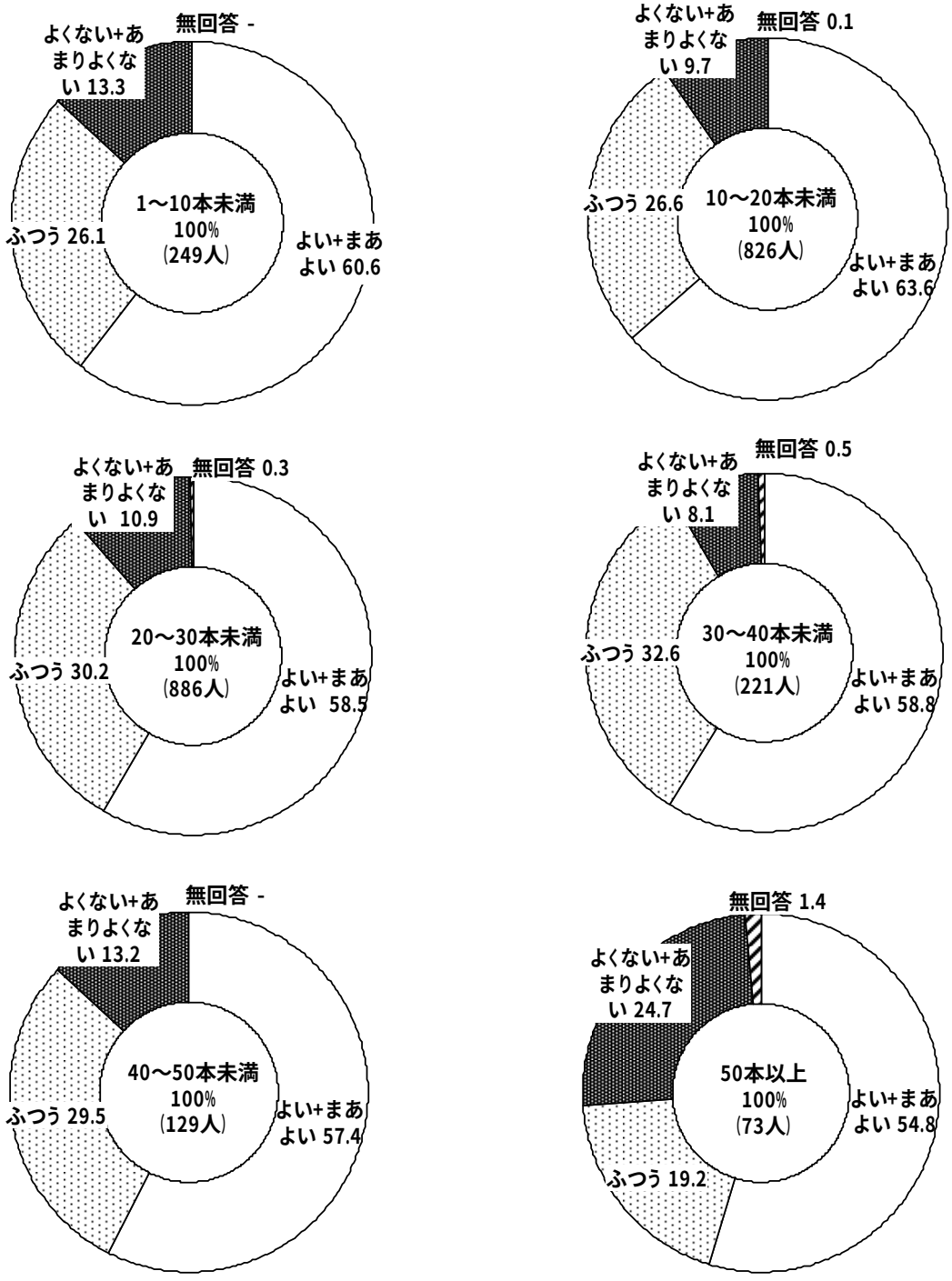


（2）1日の喫煙本数－健康状態別

1日50本以上喫煙する人の約4人に1人は、健康状態がよくないと回答。

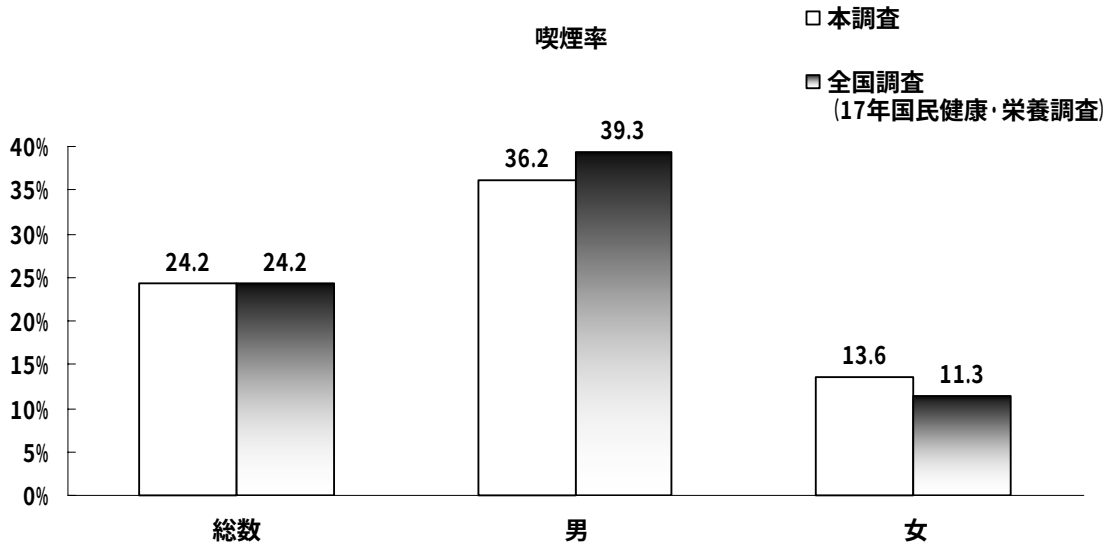
1日の喫煙本数について、健康状態別にみてみると、よい及びまあよいの割合が最も高い喫煙本数は「10～20 本未満」で 63.6%である。一方、よくない及びあまりよくないの割合が最も高い喫煙本数は「50本以上」で24.7%であった。(図Ⅱ-3-7)

図Ⅱ-3-7　1日の喫煙本数－健康状態別



参考「全国調査との比較（喫煙率）」

喫煙率(※)について参考までに本調査と全国調査（厚生労働省「17 年国民健康・栄養調査」）を比較してみると、総数は 24.2%と同じであるが、男性は本調査（36.2%）よりも全国調査（39.3%）の方が高く、女性は全国調査（11.3%）よりも本調査（13.6%）の方が高くなっている。



（注）喫煙率は本調査、全国調査（17 年国民健康・栄養調査）ともに「これまでに吸った合計が 100 本以上、または、100 本以下でも 6 ヶ月以上吸っている（吸っていた）」人のうち「現在（この 1 ヶ月間）毎日又はときどき吸っている」と回答したものの割合である。